



大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施しました。

6月24日、飯豊山系砂防事務所管内での大規模地震後に後続して発生する豪雨に伴い被害が拡大する複合災害を想定した合同防災訓練を関川村の村民会館大ホールで実施しました。当訓練は、リモート方式も活用し、国・県・市町村の関係機関の計7機関約50人が参加し、災害時の各機関の対応について情報共有や連携の確認を行いました。

加藤関川村長の全体講評では、「今回の訓練で得た経験を持ち帰り、参加しなかった部署にも共有していただき、どのような対応が必要となるかをぜひ検討してもらいたい」、コメンテーターの亀江氏の総括では、「災害時に的確な情報を伝えて、住民等に「正しく恐れて」いただくためにどのような伝え方をするか考えていただきたい」等の講評をいただきました。出水期を迎えており、今回の合同防災訓練における成果や課題を踏まえ、災害から地域の安全、安心を守るために、災害に備えた体制を整備してまいります。

訓練の様子

